

すべてのお客様に『安心と満足を』

今、金山印刷が取り組んでいること、ご提案できることをお客様へお伝えするインフォメーションです。

探検！ 印刷会社のお仕事

第7回 ご納品

印刷会社の工程をご紹介します連載もとうとう最終回です！今回は、印刷後の「納品」をご紹介します。ようやく製品となった印刷物ですが、お客様にお届けする「納品」にもストーリーはあります。弊社のホームページも合わせてご覧ください。 [金山印刷 動画](#)



今回は「納品」 お客様のお手元に製品が届くまでをご紹介します

千葉工場

製品となった印刷物はお客様のご要望に合わせて梱包し、指定箇所へお届けします。

検品

印刷時は印刷機についた複数のカメラで、印刷後は目視で、異常がないか入念に確認します。医療用医薬品添付文書は特に厳しい環境の下、検査をしています。



員数合わせ／梱包

数を数える際には、製品の重さや員数機を使って正確に分けています。梱包もガムテープを使う・使わない等、お客様のご要望に添って包みます。



ラベル／納品書

一箇所にお届けするだけでなく、全国何十箇所にお届けする製品も多々あります。ラベル作りとその確認も気を抜けない作業です。ラベルを貼る場所や貼る枚数をご指定いただいた場合はその通りに、また、お客様のご要望によっては金山印刷の名前を出さないラベルで納品する場合があります。



配送計画・指示

お客様とお約束したところへ、お約束した日にお届けします。

営業がお客様から伺った情報は、生産管理部に伝えられ配送計画が立てられます。工場から直接運送するものもあれば、分納(数回に分けて納品)するもの、全国複数箇所にお届けするもの…と様々です。お客様のお手元にお届けするまで、しっかりと管理しています。

直納

倉庫・配送

東京湾沿いにある倉庫(写真・左)。分納の指示を受けた製品は倉庫内に保管します。倉庫内の棚には保管用の製品が並んでいます(写真・中、右)。



お客様

とあるプログラマーの憂鬱 第4話「個人情報保護法よりナンバー・リクエスト」

このコーナーでは、システム開発の様子を紙芝居的に表現し、開発に関する問題点や苦悩を(主に苦悩を)赤裸々にご紹介して参ります。尚、登場する団体、個人は、全て架空の存在であり、実在するいかなる団体、個人とも一切関係ありません。

KPC広報部のフィーンとマールが、地下で会議をしているようです。

マール 電話セールスがうざい!

フィーン 電話でセールスをかけたり、アポ取りするのは、普通にありますよ

マール それは、BtoBの話で、会社にBtoCの話を持ち込むべきではない

フィーン それもそうです

マール 先日も、個人的な投資のすすめの電話がかかってきたんだけど、対応しただけでぐったりしてしまったよ。お前の友達じゃねえ!と言いたかった

フィーン 基本的に、会社に個人あて電話をかけるのはルール違反ですから、そう言ってお断りすべきです

((POINT))

会社に、個人あて電話セールスをかけるのは、ルール違反です。業務時間外にかけてもらいましょう。帰宅していると思いますが。

マール しかし、ああいうのは、どこから個人情報が漏れているのだろうか?

フィーン 名簿屋がいるのです

マール 確かに、名簿屋で検索すると、業者がたくさんヒットするが、そもそもその情報は、どこから漏れているんだろう?

フィーン ウィキによると、卒業名簿や職員名簿などが持ち込まれるそうです

マール 裏切り者め!

フィーン お金に困って売るのが、廃棄したはずの名簿を再利用されたのかは分かりません

マール 問題は、個人情報保護法に引っかけられないのか、ということだ

フィーン その辺がグレーゾーンなのです

マール 確か、あらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に個人情報を渡してはならないはずだ

フィーン しかし、いくつかの項目を本人が知り得る状態にしていれば、第三者に渡してもいいとされているのです

マール ザルだ!ザル法だ!

フィーン 従って、電話セールスを減少させるには、ナンバーディスプレイやナンバーアナウンスの、オプションサービスを利用するのが望ましいと思います

マール 敵は、番号非通知でかけてくるんだ!誠意が無い!

フィーン そこを逆にとるのです。番号非通知は接続しない、番号を通知してかけなおすようアナウンスしてくれる「ナンバー・リクエスト」というサービスが、NTT東日本にあります

マール なるほど。それはいい!

フィーン 電話番号を通知してかけてきた場合は、相手の会社にクレームの電話を入れたり、個人情報削除の依頼ができるのです

マール 是非ご検討ください

((POINT))

ナンバー・リクエストは、NTT東日本のサービスです。有料ですが、円滑な業務ができるようになると思います。

くな人たち

「バンドやろうぜ!」

うちの会社に楽器が弾ける人がいるなんて、ぜんぜん知らなかったぜ! それを知ったとき、思わず、若者みtainな口調になってしまいましたが、私は頭の薄くなった残念なおじさんです。しかし、気持ちだけは若いつもり!楽器が弾けるってかっこいい!→もてる!→やってみよう!そういう三段論法な方は、いっぱいいらっしゃる。はず! 今回は、そんな横綱な気持ちを縦綱にしちゃう、素敵なコメントをご覧くださいませ。

マンドリン(イタリア生まれのバイオリンに似た楽器)をやっています。

中学の時の同級生が「高校に入ったらやる」と聞き、くっついて入部。毎日運動部より先に行き、遅く帰るといった生活でした。

恩師に恵まれ、レッスンを受け合奏グループに入会。赤坂や勝どきにある大きなホールでも演奏会をしました。

一昨年、恩師が亡くなりましたが、良き先輩のおかげで復活。60歳以上の先輩方と一緒に演奏会をしたり、大学生に教えに行ったり、週末も忙しくしています。(メグ)

高校のとき友人たちとバンドをはじめました。実家に楽器があったことからギター担当になりました。思春期男子四名のメンバーの関心はいかに演奏が上手くなるかから、いかに沢山の女子にライブを見てもらうかに。メンバー丸くなって試行錯誤した結果、他校からも人気の高い女子ボーカル二人を新メンバーに迎えました(元ボーカルはコーラスに降格)。そして地元の小さなライブハウスを満員にしました(残念ながらお客はほぼ男子という結果に…)

先日、楽器が弾ける友人たちに会い、久しぶりに音を合わせる機会がありました。学生の頃は絶対ミスはしないという思いこみが強かったですが、いまでは気を張らずのんびり演奏を楽しむことができました。(ノン・スモーキン・ビリー)